

バス評価会資料(車内事故防止のための室内ミラーの仕様変更案)

平成22年2月8日
日本自動車工業会, 日本自動車研究所

		標準仕様		対策仕様(案)	変更部分
室内バックミラー		平面鏡 (180H×280W)	→	曲面鏡 (R1400) (180H×300W)	曲面鏡へ
前ステップ乗車確認ミラー		曲面鏡 (R600) (185H×85W)		曲面鏡 (R600) (242H×102W)	サイズ拡大
後ステップ乗車確認ミラー	ワンマンミラー：前	平面鏡 (180H×280W)		平面鏡 (180H×280W)	確認場所変更： 運転席後方確認用として使用
	ワンマンミラー：中	曲面鏡 (R1000)			なし
				モニターカメラ 【中扉/優先席監視用】	新規

(単位：mm)

	標準仕様	対策仕様(案)
室内バックミラー	平面鏡のため、曲面鏡に比べて距離感の把握には優れるが、視界範囲が狭い。 立ち乗客がいない場合でも、左右最前席、車いす優先席、左右最後席を確認できない。 立ち乗客がブラインドになった場合には、後方の確認は殆どできない。	立ち乗客がブラインドになった場合にも、後部の立ち乗客、車いす・優先席の一部が確認可能。
前ステップ乗車確認ミラー	特に問題なし	乗降時の車外の乗客も確認できる。このため、高齢者が降車時に、身体は外に出ているが、車内手すりを持っている状態で扉を閉める際の挟撃事故防止に有効。
後ステップ乗車確認ミラー	ワンマンミラー中の画像を、ワンマンミラー前に写して確認する。 画像の中から、必要な画像を選択するするため、視認負荷が非常に大きいと推察され、最初に改善が必要な項目である。	立ち乗客がいる場合でも、乗降ステップを確認でき、保安基準要件を満たす。 車いす・優先席も確認できる。 ワンマンミラー前を運転席後方確認用として使用できる。

室内バックミラー

標準仕様

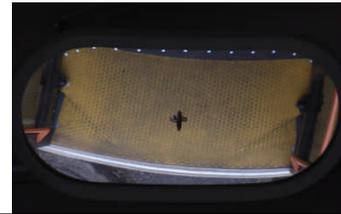


対策仕様



前ステップ乗車確認ミラー

標準仕様



対策仕様



標準仕様の搭載ミラー



後ステップ乗車確認ミラー

標準仕様



対策仕様

